

## 長年にわたり消防団活動に尽力

### ●中嶋幸雄さんに高齢者叙勲



▲津谷市長と消防団の思い出や受章の喜びを語る中嶋幸雄さん

消防団活動に尽力された中嶋幸雄さん（88歳）は、阿仁笑内がこのほど高齢者叙勲の瑞宝単光章を受章し、4月17日、市役所で伝達式が行われました。高齢者叙勲は、公共のために貢献された各界の功労者のうち、春秋叙勲で勲章を授与されていない方で88歳に達した方に授与されます。

中嶋さんは、昭和16年4月に阿仁町消防団に入団し、退職される昭和62年3月までの46年の長きにわたって消防団員を務められ、その間、副分団長や分団長を歴任されています。

中嶋さんは「一生懸命頑張ってきた甲斐があった。後輩も地域のために頑張っているの、陰ながら応援していきたい」などと喜びを語りました。

## 牧草食べて元気に育ってね

### ●市営鷹巣牧場で入牧式



▲牛舎から広い牧場に移り、のんびりと草をはむ牛たち

市営鷹巣牧場の入牧式と安全祈願祭が5月16日、栄字堤沢地内の同牧場で行われ、利用組合員や関係者など約30人が出席し、牧場の安全と牛の成長を願いました。

鷹巣牧場は平成3年にオープンし、同牧場の利用組合（工藤文一郎組合長、19組合員）によって放牧が続けられています。総面積が87ヘクタール、うち草地部分が約24ヘクタールの林間放牧場です。

この日放牧されたのは8組合員が所有する繁殖用成牛25頭と子牛5頭、市が所有する種牛1頭の合わせて31頭。衛生検査を終えた牛が手綱を解かれると、勢いよく飛び出し、牧場を駆けまわったり、草をはんだりしていました。

## 後輩の前で歌声を披露

### ●本城奈々 | N秋田北鷹高校ライブ



▲高校の後輩の前で、ピアノの弾き語りを披露する本城奈々さん

本城奈々 | N秋田北鷹高校ライブが5月7日、同校第1アリーナで開かれ、シンガーソングライターの本城奈々さんが生徒76人を前にオリジナル曲などを熱唱しました。

今回のライブは、旧鷹巣高校出身の本城さんが、統合後初めて同校を訪問し実現したものです。

森吉出身の本城さんは25歳。イベントステージや都内のライブハウス、路上ライブを中心に活動し、これまで2枚のマキシシングルを出しています。

この日のライブでは、トークも交えながらオリジナル曲の「スーパーマン」、「きかんしゃ公園の町」など7曲を熱唱し、生徒たちは歌い終わるごとに大きな拍手を送っていました。

## 北秋田市の魅力を満喫

### ●「とれたて村」産地訪問ツアー



▲打当温泉マタギの湯では、きりたんぼ作りに初めて挑戦しました。

北秋田市がアンテナショップとして出店している東京都板橋区のハッピーロード大山商店街「とれたて村」の利用者9人が、5月12日から1泊2日の行程で当市を訪れ、体験等を通して交流を深めました。

このツアーは、出店している産地の魅力を知って、交流につなげようと「とれたて村」が企画したものです。

一行は、大太鼓の館、北欧の杜公園、森吉山ダム、熊牧場、道の駅あになどを見学しました。宿泊先の打当温泉マタギの湯では、きりたんぼ作りに挑戦。また、地元のマタギから狩猟などの話を聞いたり、山菜の採り方や調理方法を教えてもらったりしながら産地の魅力を満喫していました。

## 7頭の仔熊が誕生

### ●安全再確認し熊牧場オープン



▲「仔熊の触れあいコーナー」は、子どもたちに大人気

マタギの里熊牧場が4月28日オープンし、今年生まれた仔熊を見ようと家族連れなどで賑わいました。

熊牧場は、日本でもめずらしいツキノワグマを専門とする牧場で、ツキノワグマ80頭とヒグマ1頭が飼育されています。4月に、八幡平クマ牧場で熊が柵から逃げ出す事故が発生したため、マタギの里熊牧場でも安全面を入念に検査してオープンしました。

今年はおス3頭、メス4頭の合わせて7頭が誕生。体長約40センチ、体重1キロ程の愛くるしい仔熊たちが代わる代わる登場すると、開園を楽しみにしていた家族連れが、仔熊に触れたり、一緒に写真を撮ったりして楽しんでいました。

## 春山にシュプール

### ●森吉山阿仁スキー場で春山営業



▲好天の下、サンシャインコースで春スキーを楽しむ来場者

ゴールデンウィークの4月28日から5月6日までの期間中、森吉山阿仁スキー場で春山営業が行われ、スキーやスノーボード、登山などを楽しもうと大勢の来場者が訪れました。

同スキー場は、特定非営利活動法人森吉山（片岡信幸理事長）が指定管理を受け、夏期（6月～10月）と冬期（12月～3月）に営業してきましたが、今年は、多くの方に春スキーを楽しんでもらおうと企画。同スキー場での春山営業は22年ぶりです。

晴天に恵まれたオープン初日の28日には、最新モデルが勢揃いしたスノーボードの試乗会も開かれ、来場者は、残雪の感触を確かめるように滑りを楽しんでいました。